

「リチウムイオン二次電池構成材料の解析と需要予測」 目次

1. リチウムイオン二次電池の概要と市場動向
 - 1.1 リチウムイオン二次電池の構造別、容量別の概要
 - 1.1.1 構造別(角形、円筒型、ラミネート型)
(角形と円筒は極板が巻込、ラミネートは積層)
 - 1.1.2 容量別
小型(<1Ah)、中型(<10Ah)、大型(>10Ah)
 - 1.2 中型、小、型の用途別市場動向
 - 1.2.1 小型モバイル機器用途
携帯電話
ノートPC(A4型およびモバイル型)
デジタルカメラ、ムービー
 - 1.2.2 中型パワー&エネルギー用途
アシスト自転車
電動工具類
 - 1.3 大型エネルギー&パワー用途
 - 1.3.1 自然エネルギー蓄電(風力・太陽光発電)
 - 1.3.2 新・交通システム他
 - 1.4 大型パワー&エネルギー用途
ハイブリッド自動車(HEV, PHEV)
電気自動車(EV, PEV)
2. リチウムイオン二次電池メーカーの動向
 - 2.1 提携・再編動向
 - 2.2 三洋電機
 - 2.3 パナソニック エナジー社
 - 2.4 パナソニック EVI ナジー
 - 2.5 ソニー
 - 2.6 東芝
 - 2.7 NEC トーキン
 - 2.8 オートモーティブエナジーサプライ
 - 2.9 シーエス・ユアサ
(リチウムエナジージャパン)
(ブルーエナジー)
 - 2.10 日立ビークルエナジー
 - 2.11 新神戸電機
 - 2.12 日立マクセル
 - 2.13 古河電池
 - 2.14 その他
(BYD、サムスンSDI、LG化学、A123 など)
3. リチウムイオン二次電池の構成材料の市場・メーカー動向
 - 3.1 正極材
(コバルト系、マンガン系、複合(Mn、Ni、Co)系 他)
 - 3.2 負極材
(黒鉛系、ハードカーボン系、チタン酸リチウム/LTO)
 - 3.3 セパレーター
 - 3.4 電解液、電解質
 - 3.5 バインダー
 - 3.6 集電箔 その他材料
4. リチウムイオン二次電池の構成材料と解析
 - 4.1 小型(角型)モバイル用途の構成と材料所要量
(正極活物質、負極活物質、セパレーター、電解液、集電箔、外装材 その他)
 - 4.2 中型(円筒型)ハイパワー用途の構成と材料所要量
(正極活物質、負極活物質、セパレーター、電解液、集電箔、外装材 その他)
 - 4.3 大型(積層型)ハイパワー用途の構成と材料所要量
(正極活物質、負極活物質、セパレーター、電解液、外装材 その他)
 - 4.4 リチウムイオン二次電池の材料の価格動向
 - 4.5 資料(解析内容と結果の表示方法)
5. リチウムイオン二次電池の構成材料の需要と予測
 - 5.1 小型(携帯電話、デジタルカメラ、ムービー、ノートパソコン)
 - ① 正極材の市場予測
 - ② 負極材の市場予測
 - ③ セパレーターの市場予測
 - ④ 電解液・電解質の市場予測
 - ⑤ バインダーの市場予測
 - ⑥ 集電箔その他材料の市場予測
(①～⑥項目は以下の5.2～5.3も同様)
 - 5.2 中型(電動工具、電動自転車)
 - 5.3 大型(自然エネルギー貯蔵など)
6. 自動車用リチウムイオン電池の需要予測と材料市場
 - 6.1 HEV、PHEV、EVの区分、用語および方式
 - 6.2 自動車用電池の特性パラメーター
 - 6.3 量産HEVの電池と性能(NiMH)
 - 6.4 HEV用リチウムイオン電池の試算
(セルの数量、材料および市場)
 - 6.5 EV、PHEV用のリチウムイオン電池の試算
(セルの数量、材料および市場)
7. まとめ・総括